



# 感謝

2022年もコロナ禍の中での大会となりました。

最大限、ランナーの皆様が安心して参加でき、楽しめる大会にするためにはどうしたらよいかと考えて、大会を準備しました。大会直前、再び感染者数が増え、無事に開催できるか、祈るような思いでした。そんなとき、コース周辺で練習に励むランナーの皆様の姿を見かけると、何とか大会を成功させたいという思いが強くなりました。事前説明会を熱心に受講されているボランティアの皆様の様子を見ると、たくさんの方々とともに大会を作っているんだと勇気づけられました。

## “一緒に走らへんか”

ランナーの皆様、ボランティアはじめスタッフの皆様、ご支援・ご協力いただいた皆様、大会に関わっていただいた、すべての皆様とともに走りきることができました。本当にありがとうございました。地域の皆様には、大会をさせていただき、心より感謝申し上げます。

長い冬ですが、春はきっと、もうすぐです。

2023年も奈良でお会いしましょう。

奈良マラソン実行委員会



## 奈良マラソン2022は、ボランティア、競技役員、救護スタッフ、行政職員、ガードマン等、約6,000人が運営にあたりました。

■ボランティア協力団体※順不同 NPO法人ならスポーツクラブ、NPO法人川西スポーツクラブ、NPO法人全国健走マラソン会(ZKM)奈良県支部、SeRVなら、SMBC日興証券株式会社 奈良支店、YUYU(友遊)、かんぼ生命(生命保険協会奈良県協会)、ジブラルタ生命保険株式会社、スポーツボランティア同好会 花のフレンズ、ハロー英会話、王寺ランナーズクラブ、河合中尾グループ、株式会社奥村組 奈良支店、株式会社サイナカムラ、株式会社ジェイテクトサーモシステム、株式会社日本政策金融公庫奈良支店、関西電力送配電株式会社 奈良支社、宮川グループ、特定非営利活動法人香久山総合型スポーツクラブ、佐藤薬品工業株式会社、桜35会ウォーク&山、三和住宅株式会社、住友生命(生命保険協会奈良県協会)、生命保険協会 奈良県協会(事務局)、損害保険ジャパン株式会社、村本建設株式会社、大阪ガスネットワーク株式会社、大樹生命(生命保険協会奈良県協会)、大日本土木株式会社、大和ウォーキング協会、大和信用金庫、天理あすなろ、天理教奈良教区、天理市いちょうの会(本人の会)、天理市観光協会、天理市荒蒔町役員会、天理市守日堂町自治会、天理市前栽校区区長会、天理市蔵之庄町自治会、天理市丹波市校区体育振興会、天理市中之庄町自治会、天理市朝和校区区長会、天理市二階堂校区区長会、天理市布留町自治会、天理市福住校区区長会、天理市豊田町内会、天理市柳本校区体育振興会、天理市陸上競技協会、天理市和爾町自治会、天理大学、東九条グループ、特定非営利活動法人榎原健康スポーツクラブKKSC、奈良学園大学、特定非営利活動法人奈良県レクリエーション協会、特定非営利活動法人奈良県ウォーキング協会、奈良県サイクリング協会、奈良県信用保証協会、奈良県土地家屋調査士会、奈良県友会、ならこいプロジェクト、奈良市シルバー人材センター、奈良市ボランティア連絡協議会、奈良市運動習慣づくり推進員協議会、奈良市地区奉仕団鼓阪分団、奈良市民走ろう会、奈良信用金庫、奈良地区更生保護女性会、奈良中央信用金庫、奈良県立大学 奈良んていあ、日本スポーツウエルネス吹矢協会やまと郡山支部、日本たばこ産業株式会社 奈良支社、日本生命保険相互会社 奈良支社(生命保険協会奈良県協会)、日本ボーイスカウト奈良県連盟、平川グループ、奈良市スポーツ推進委員協議会、奈良市スポーツ協会、大和郡山市スポーツ推進委員会、天理市スポーツ推進委員会、天理市体育協会、橿原市スポーツ推進委員協議会、公益財団法人桜井市体育協会、生駒市スポーツ推進委員協議会、一般財団法人生駒市スポーツ協会、斑鳩町スポーツ協会、田原本町スポーツ推進委員会、河合町スポーツ協会、黒滝村スポーツ推進委員会、県立国際高等学校、県立山辺高等学校、県立添上高等学校、県立二階堂高等学校、県立商業高等学校、県立五條高等学校、県立御所実業高等学校、県立生駒高等学校、県立法隆寺国際高等学校、県立高取国際高等学校、県立大和広陵高等学校、県立ろう学校、県立奈良西養護学校、奈良市立一条高等学校、奈良育英高等学校、奈良女子高等学校、智辯学園奈良カレッジ高等部、天理市立西中学校

奈良マラソンは、奈良県、奈良市、天理市、一般財団法人奈良陸上競技協会他で構成する奈良マラソン実行委員会が実施しています。